

企画展「明治18年の淀川洪水」

12月11日(水)まで枚方宿鍵屋資料館で 関連講座も

◎チラシ・写真あり

市立枚方宿鍵屋資料館(堤町10-27)は門真市立歴史資料館・淀川資料館と連携した合同企画「淀川改修150年—その歴史をふりかえる—」を実施する。各館が合同企画に沿って個別テーマを設定し、さまざまなイベントを開催するもので、鍵屋資料館では明治18年(1885年)に大阪府下に甚大な被害をもたらした枚方付近の堤防決壊を要因とした淀川洪水(通称「伊加賀切れ」)がテーマの企画展「明治18年の淀川洪水」を10月10日(木)~12月11日(水)に開催。枚方市およびその周辺地域に残る資料から当時の様子を復元し、展示する。10月30日(水)・11月24日(日)には関連講座も実施。展示は入館料のみで観覧可。関連講座は別途要参加費。担当者は、「近年、各地で災害が発生しているが、かつては淀川でもたびたび水害が発生していた。今回の展示は、これまでの淀川洪水に関する調査・研究成果を反映したものになっているので、ぜひ見学に来てほしい」と話している。

★明治18年の淀川洪水

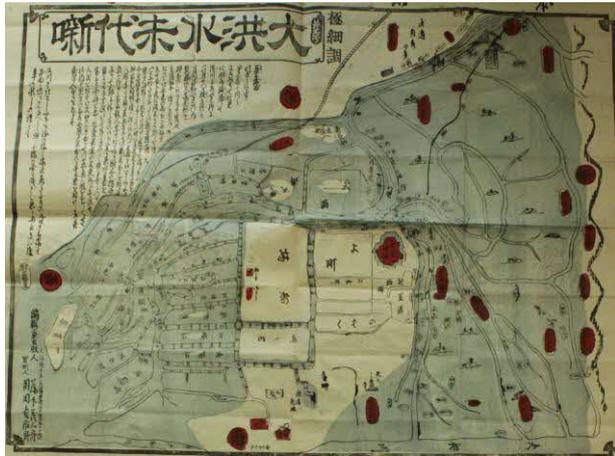
明治7年(1874)、政府は外国人技師を招くなどして、淀川で近代的治水事業が実施された。そのなかで枚方付近の堤防決壊を要因とした明治18年(1885)の淀川洪水(通称「伊加賀切れ」)が発生し、大阪府下に甚大な被害をもたらしたもの。

★展示期間は10月10日(木)~12月11日(水)、午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)。入館料は一般200円、高校・大学生100円(要学生証)、中学生以下無料。火曜日は休館日(火曜が祝日の場合は翌日)。

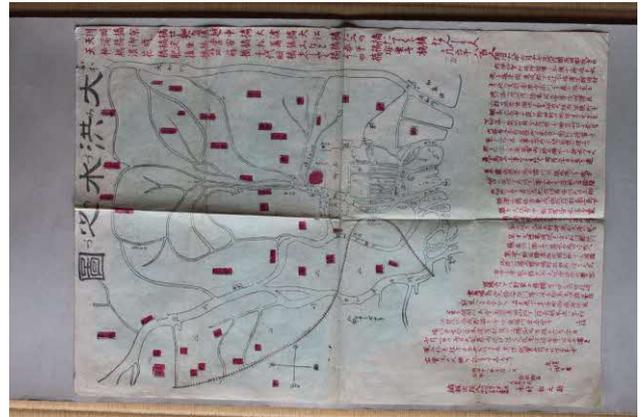
★展示予定資料(一部)

大洪水未代噺	明治18年の淀川洪水の被害状況を図示した印刷物。
瓦版 大洪水之図	明治18年の淀川洪水の被害状況を図示した瓦版。
明治18年洪水碑元字	枚方市登録文化財にもなっている「明治十八年洪水碑」の元になった資料。
明治18年洪水碑記念扇子	「明治十八年洪水碑」の建碑式の際に作成された記念扇子。

大洪水末代噺（枚方市蔵）



瓦版 大洪水之図（枚方市蔵）



★ 3館合同企画関連講座

①「オランダ人土木技師と近代河川改修」

講師：植村善博氏（佛教大学名誉教授）

概要：日本の近代治水や土木事業にはオランダ人土木技師たちが大きく貢献した。淀川と大阪築港はもちろん、木曾三川、九頭龍川、猪苗代湖など各地で工事の調査、設計、監督にあたった。彼らの功績が地域でどのように評価されてきたのかを講演する。

②「明治18年洪水と淀川改良工事」

講師：諸留幸弘氏（元国土交通省技官、現在（株）コンサルタント関西勤務）

概要：明治18年洪水の概要と淀川の原型ともなる「淀川改良工事」について講演。

日時など：①10月30日（水）②11月24日（日）

いずれも午後2時～3時30分、市立枚方宿鍵屋資料館。

参加費：大人500円、中学生以下300円

申込：①受付中。②11月2日（土）午前9時から電話で鍵屋資料館へ。先着各70人。

<お問い合わせ>

市立枚方宿鍵屋資料館 ☎・FAX：072-843-5128

「明治18年洪水
安治川橋の景」

「毛馬第一閘門工事」

『淀川修築工事―砂防工事竣工帳』より

淀川改修150年

—その歴史をふりかえる—

開催
期間

令和6年10月10日（木）～12月10日（火）

淀川は明治期の改修から今年で150年の節目の年を迎えます。われわれの資料館3館が立地する北河内地域は、淀川の流れによって肥沃な土が運ばれ、豊かな穀倉地帯となった一方で、幾度となく洪水の被害にも悩まされました。本展示会（今年の合同企画）では3館が独自の視点から淀川やその流域の歴史を掘り下げ、地域に根ざした淀川のあり様について明らかにします。

門真市立歴史資料館 パネル展

淀川の歴史をさかのぼる

期間 10/10（木）～12/10（火）

内容：わたしたちにとってなじみの深い淀川について、その成り立ちから現在の様子までを概観するとともに、度重なる洪水の被害などにもスポットを当て、淀川と門真を含む周辺地域とのかかわりやそのあゆみを知ることができるパネル展となっています。なお、歴史資料館での展示は休止中ですので、門真市立図書館（門真市新橋町3-4-101 京阪門真駅すぐ）において開催します。開催時間は午前10時から午後6時（日曜は午後5時）まで。図書館の休館日は月曜、祝日、第4金曜。ただし、11月3日は開館。

市立枚方宿鍵屋資料館 企画展

明治18年の淀川洪水

期間 10/10（木）～12/11（水）

内容：今から150年前の明治7年（1874）、政府は外国人技師を招くなどして、淀川では近代的治水事業が実施されました。そのような中、枚方付近の堤防決壊を要因とした明治18年（1885）の淀川洪水（通称「伊加賀切れ」）が発生し、大阪府下に甚大な被害をもたらしました。当館では、個別テーマ「明治18年の淀川洪水」を設定し、枚方市およびその周辺地域にのこる資料から明治18年の淀川洪水の様子を復元します。開館時間は、9:30～17:00。休館日は火曜日。一般200円、中学生以下無料。

淀川資料館 秋期企画展示

淀川タイムスリップ —写真で振り返る150年の歩み—

期間 10/10（木）～12/10（火）

内容：明治7年（1874）、オランダ人技術者のデ・レーケらによって、淀川で航路を整備するための計画・工事が行われました。近代改修工事の先駆けとなったこの工事から今年でちょうど150年目の節目の年を迎えます。150年記念となる今回の展示では、当館の所蔵する貴重な古写真を公開します。先人が経験した歴史的な洪水、淀川で行われた大規模な工事、物流の中心となっていた舟運等、時代を切り取った古写真から150年を振り返ります。開館時間は、10:00～16:00。休館日は、土日・祝日。入館料無料。

※最新の情報は各館のHPでご確認の上、ご来館をお願いいたします。



令和6年度
合同企画

淀川改修150年

-その歴史をふりかえる-

令和6年10月10日(木)～12月10日(火)

合同イベント 伏見周辺の史跡をめぐる

申込制
定員有

11月21日(木)

13時～16時頃

案内：淀川資料館

行程：京阪中書島駅～伏見港～三栖閘門資料館～高瀬川落合～

蓬萊橋～平戸樋門～淀川橋梁～太閤堤～京阪鏡月橋駅(予定)

※別途料金が必要となる施設には入りません。

集合場所：京阪中書島駅 北改札口

定員：20名(先着順)

料金：500円(資料代・保険代を含む)

申込：11月1日(金)9:00より電話(072-843-5128)にて鍵屋資料館へ

※歩きやすい服装・靴でお越しください。飲料・タオル等をご持参ください。

※悪天候等により中止する場合があります。また当日の状況により、ルートを変更する場合があります。



平戸樋門



三栖閘門



淀川橋梁

関連イベント 歴史講座

申込制
定員有

①「オランダ人土木技師と近代河川改修」

10月30日(水)14時～15時30分頃

講師：植村 善博氏(佛教学大学名誉教授)

内容：日本の近代治水や土木事業にオランダ人土木技師たちが大きく貢献しました。彼らの功績が地域でどのように評価されてきたのかについて、講演いただきます。

②「明治18年洪水と淀川改良工事」

11月24日(日)14時～15時30分頃

講師：諸留 幸弘氏(元国土交通省技官、現在(株)コンサルタント関西勤務)

内容：明治18年洪水の概要と淀川の原型ともなる「淀川改良工事」について、講演いただきます。

会場：鍵屋資料館別棟2階大広間(階段あり) 定員：各70名(先着順)

料金：大人500円(入館料含む)/中学生以下300円

申込：①10月4日(金)/②11月2日(土) 9:00より電話(072-843-5128)にて鍵屋資料館へ

門真市立歴史資料館

資料館での展示は休止中。

お問い合わせは下記の日時にお電話にて
お願いいたします。市HPもあわせて
ご覧ください。

月曜～土曜 9:00～17:30

休館日 日曜・祝日

06-6908-8840

市立枚方宿鍵屋資料館

枚方市堤町 10-27

072-843-5128

開館時間 9:30～17:00

休館日 火
(ただし祝日の場合は翌平日休館)

入館料 一般200円
中学生以下無料

淀川資料館

枚方市新町 2-2-13

072-846-7131

開館時間 10:00～16:00

休館日 土日・祝日

入館料 無料